令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	中央図書館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-861-4501
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	ブックスタート事業			

【事業全体概要】

事業概要	4か月児相談時に絵本等を贈呈し、ボランティアによる読み聞かせを行うことで、子どもの読書活動及び子育て支援を推進する。				
年度概要	ブックスタートパック配布 ボランティアによる読み聞かせ等 ブックスタートボランティア養成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市図書館条例、高松市図書館条例施行規

【事業の目的】

対象（何を）	市内の4か月児相談の対象者とその保護者
意図（どのような状態にしたいか）	絵本を介して保護者と赤ちゃんがゆっくり心触れ合うひと時を持つきっかけをつくるとともに、子どもの読書活動の推進につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
ブックスタートを実施した回数	回	0	0	153	144	144

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
		ブックスタートパック配布率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	95 92.8	95	95
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	4か月児相談受診時にブックスタートパックを配布したほか、相談受診に来れなかった親子には保健師が個別訪問した際に配布するなど延べ2,555人に配布することができた。			(目標達成度)	97.7%				
				(得点)	34点				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	9,404	9,447	9,731	9,602
(事業費)	[千円]	1,920	1,920	2,011	1,882
(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	7,720	7,720

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	ブックスタートパック配布 ボランティアによる読み聞かせ等 ブックスタートボランティア養成	2,011千円	総額	2,011	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	1,600
一般財源	411				
令和 7 年度	ブックスタートパック配布 ボランティアによる読み聞かせ等 ブックスタートボランティア養成	1,882千円	総額	1,882	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	1,882				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

成果指標における前年度との比較では、ほぼ同レベルを維持している。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

第6次高松市子ども読書活動推進計画に基づき、いつでも家庭で読み聞かせができる環境づくりを支援し、生涯に渡る読書活動のきっかけになるよう取り組んでいく。
4か月児相談時にブックスタートパック(絵本・ブックリスト・図書館案内)の配布を行うとともに、ボランティアによる読み聞かせを実施するなど、子育て支援と子どもの読書活動の推進に努める。また、ボランティアを育成するため、ブックスタートボランティア養成講座を開催する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	中央図書館
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-861-4501
	取組方針	学習施設・機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 1年度
	事務事業	サンクリスタル高松リニューアル事業			

【事業全体概要】

事業概要	平成4年11月に開館したサンクリスタル高松は、開館から30年が経過し、少子高齢化の進展、働き方の変化、デジタル化の推進など環境は変化し、また、経年劣化による施設の老朽化、特に空調機器等の不調等、設備面の不具合が深刻となっており、今後も安心して利用してもらえる施設とするために早期に改修を行う必要がある。このことから、市民の意見等も取り入れながら、誰もが快適に利用しやすい、若い世代が利用したくなる、地域と密接なつながりを持つ「市民に役立ち愛され地域に貢献するサンクリスタル高松」を目指すほか、ゼロカーボン等の環境負荷の低減も考慮した費用対効果の高い施設整備事業を実施する。				
年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・サンクリスタル高松大規模改修工事 ・新システム保守等 ・新システム用ICタグ ・中央図書館家具修繕業務 ・中央図書館 図書館機能等移転経費 				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	関連根拠法令	教育基本法、社会教育法、第2期高松市教育	

【事業の目的】

対象(何を)	サンクリスタル高松を利用する利用者
意図(どのような状態にしたいか)	高松市中央図書館の在り方を中心として、菊池寛記念館及び歴史資料館との3館連携・融合を含め、施設の機能・魅力・集客力を高めるため、管理運営の手法も含めた検討を行い、その結果に基づき費用対効果の高い施設整備を実施する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
リニューアルに係る進捗率	%	0	0	18.9	60	80

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8	
		サンクリスタル高松リニューアル進捗率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	20 18.9	60	80
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
	サンクリスタル高松リニューアルに向けての実施設計、図書館情報システムの更新は順調に進められた。一部、菊池寛記念館、歴史資料館のリニューアル事業の実施設計が翌年度に繰り越した。			(目標達成度)	94.5%				
				(得点)	33点				
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8	
			目標値 実績値						
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								
				(目標達成度)					
				(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	176,743	130,126	215,272	247,067
(事業費)	[千円]	146,807	100,018	184,392	216,187
(職員人件費)	[千円]	29,936	30,108	30,880	30,880

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・サンクリスタル高松リニューアル事業 実施設計 (R5~R6) ・図書館システム更新事業 ・菊池寛記念館リニューアル事業 実施設計 ・歴史資料館リニューアル事業 実施設計 	195,337千円 (うちR7年度へ繰越10,945千円)	総額	184,392	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	36,800
				他	122,913
一般財源	24,679				
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・サンクリスタル高松大規模改修工事 ・新システム保守等 ・新システム用ICタグ ・中央図書館家具修繕業務 ・中央図書館 図書館機能等移転経費 	216,187千円	総額	216,187	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	114,200
				他	40,410
一般財源	61,577				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和6年度は、施設の将来的な在り方や整備の方向性を取り纏めた「サンクリスタル高松リニューアル基本構想」に基づき、施設整備の実施設計、図書館システム更新業務を進めた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

「サンクリスタル高松リニューアル基本構想」に基づき、令和6年度に実施設計、令和7年度に改修工事に着手し、令和9年度秋ごろのリニューアルオープンを目指す。あわせて更なる図書館情報システムのデジタル化を目指し、ICタグ整備やセキュリティゲートを設置協議し、リニューアルオープン時における利用者の利便性の向上を図る。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	中央図書館
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-861-4501
	取組方針	学習施設・機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	図書館運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	地域や市民に役立つ図書館をめざし、中央館と地域館等市内全域を網羅する図書館ネットワークの整備等、図書館機能の拡充を図り、また蔵書の確保と情報提供の充実に努め、便利で身近に利用できる図書館環境の整備に取り組む。					
年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬等 ・図書館資料整備費 ・図書館運営事務費（図書館協議会費132千円含む） 					
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市図書館条例、高松市図書館条例施行規	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市全域に図書館サービスを提供し、親しみやすく利用しやすい図書館となるよう、市民サービスの向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
蔵書購入冊数	冊・点	0	0	25,752	23,000	23,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		貸出冊数	千冊	目標値 実績値	0 0	0 0	2,500 2,124	1,500
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	図書館機能の充実を始め、読書活動推進につながる行事の実施や情報発信に努めたものの、貸出冊数は目標を達成することができなかった。	（目標達成度） 85.0% （得点） 30点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		図書館利用者数	千人	目標値 実績値	0 0	0 0	550 491	350
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	読書離れに歯止めがかからない中、図書館の利用者数は目標を達成することができなかった。	（目標達成度） 89.3% （得点） 31点						

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	431,593	445,657	489,506	440,998
(事業費)	[千円]	237,009	249,955	288,786	240,278
(職員人件費)	[千円]	194,584	195,702	200,720	200,720

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬等 ・図書館資料整備費 ・図書館運営事務費 (図書館協議会費 1 3 2 千円含む) 	1 9 3 , 2 3 2 千円 6 4 , 9 9 0 千円 3 0 , 5 6 4 千円	総額	288,786	
			特定財源	国	1,973
				県	986
				市債	0
				他	23,672
一般財源	262,155				
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬等 ・図書館資料整備費 ・図書館運営事務費 (図書館協議会費 1 3 2 千円含む) 	1 7 7 , 9 9 9 千円 5 3 , 0 0 3 千円 9 , 2 7 6 千円	総額	240,278	
			特定財源	国	2,694
				県	1,348
				市債	0
				他	321
一般財源	235,915				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	1	低下している
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80% ~ 100%)	A	総合点 (率)	81 / 100 (81 %)	今後の方向性	継続
	B (60% ~ 79%)					
	C (0% ~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

利用環境の整備・拡充を図ってきたものの、読書離れが進む中、令和6年度も貸出冊数、利用者数ともに目標に届かない状態が継続している。その中で、読書バリアフリー計画に基づく視覚障がい者への読書環境の整備や電子書籍の充実に取り組み、新たな利用者の獲得に努めた。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

サンクリスタル高松のリニューアル事業により、中央図書館は5月7日から休館しているが、リニューアルオープンを見据え、地域館の貸出冊数を前年度比20%増を目指すとともに、各館での居心地の良い空間づくりを行う。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	生涯にわたり学べる社会の実現		課(室)名	中央図書館
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-861-4501
	取組方針	学習施設・機能の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	図書館文化活動事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもの読書活動を推進するため、子ども読書まつりや子ども向け講座を開催するほか、子どもを対象としたおはなし会を行うボランティアの技能向上等を図るため、講座・研修会を実施する。				
年度概要	「図書館を使った調べる学習コンクール」体験講座、相談会、読書感想画ワークショップ、ボランティア養成講座、季節ごとのイベントの開催 第20回子ども読書まつりの開催				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市図書館条例、高松市図書館条例施行規	

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	子ども向け行事に参加することで、読書に対する関心を高めてもらう。また、ボランティアについては、図書館に対する関心を高めるとともに技能を修得してもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
講座実施回数	回	0	0	17	19	19

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		子ども読書まつりの参加者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	2,000 1,959	2,000
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	来館者が楽しく会場内を巡るための工夫を行うとともに、子どもだけでなく、親子で楽しめるワークショップを開催するなど、参加者増につなげることができた。			(目標達成度) 98.0%	(得点) 34点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)	(得点)			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	15,606	15,548	15,902	15,966
(事業費)	[千円]	638	494	462	526
(職員人件費)	[千円]	14,968	15,054	15,440	15,440

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	「図書館を使った調べる学習コンクール」体験講座、相談会、読書感想画ワークショップ、ボランティア養成講座、学生ボランティアの養成、季節ごとのイベントの開催 第19回子ども読書まつりの開催	462千円	総額	462	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	36
一般財源	426				
令和 7 年度	「図書館を使った調べる学習コンクール」体験講座、相談会、読書感想画ワークショップ、ボランティア養成講座、季節ごとのイベントの開催 第20回子ども読書まつりの開催	526千円	総額	526	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	50
一般財源	476				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

「第19回子ども読書まつり」を始め、中国語・英語・フランス語のおはなし会などの子ども向けの講座のほか、英語で楽しむ大人のための朗読会などの大人向けのイベントも開催し、多くの参加者を得られた。今後は、より幅広い世代に向けた事業を展開していくことで、図書館利用者数の増加につながる取り組みが必要である。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

令和7年度から始まるサンクリスタル高松のリニューアル工事により、中央図書館が休館となるが、イベント内容はもとより、会場の設定や周知方法などを見直すことで、引き続き子どもの読書活動の推進につながる事業を実施していく。